

「立体地図と街歩きで成増・赤塚地域の地形を知ろう」の実施報告について**1 事業概要**

成増周辺は起伏が多く、また遺跡や湧き水などのスポットがあり、とても魅力に富んだ場所である。しかし、地元や周辺地域の文化や歴史について知る機会は少ないため、地元への関心が低下してしまう。そこで、成増から高島平近辺の立体地図を作製して、自分の住む地域の地形を知り、完成された立体地図に湧き水スポットや学校、遺跡などをマッピングしていく。今回は街歩きも行い、いたばしまち博友の会や郷土資料館の方にもお話を聞くことで、若者と地元民が繋がることにより、多世代交流の可能性もある。郷土に対する愛着を深め、ひいては防災意識を高めることにつなげることを目的とする。

2 日時

① 立体地図づくり

令和4年3月5日（土） 14時から16時まで

② 街歩き

令和4年3月6日（日） 13時から16時まで

3 会場

① 令和4年3月5日（土）成増生涯学習センター 2階 準備室

② 令和4年3月6日（日）成増生涯学習センター他

4 参加者

①、②とも10名 内訳は以下のとおり

①(小6)2人、(中1)3人、(中3)1人、(50代)1人、(60代)3人

②(小6)3人、(中1)3人、(中3)1人、(40代)1人、(50代)1人、(60代)3人

5 内容

① 等高線に沿って切り取った地図を重ね、間に段ボール片を貼り付けて高さを出して、成増・赤塚地区の立体地図を作成する。最後に、街歩きのルート順に番号をつけたシールを貼る。

② 第1回で作成した立体地図を手にとり高低差を実感しながら、成増・赤塚地区の特徴的なポイントを巡り、まち博友の会の方々の説明を受けながら、郷土資料館まで歩く。郷土資料館では職員から地層や土地の特徴について説明を受けた。

6 備考

- ① 小学6年生から高齢者まで幅広い年齢層が同じ空間で同じ作業をすることができた。細かい作業であったが、全員が集中して立体地図を完成させた。高齢の受講者も「充実した時間を過ごせた」と喜んでいた。
- ② 街歩きの行程の中、立体地図通りの高低差に受講生が感激していた。まち博友の会や郷土資料館の協力で大変充実した内容となった。受講者は改めてこの地区の面白さを感じられた様子だった。

